

佐志中学校だより

東天

歩° 歩° 歩° (ぽっぽっぽ)

気づき、考え、実行する生徒になろう

令和3年9月 第5号

文責：田中 泰博

～2 学期スタート！～

長い夏休みが終わり、2学期がスタートします。事故もなく生徒が無事に過ごせたことは大変良かったです。しかし、コロナ感染症の拡大はとどまることを知らず、皆さんも知っているように唐津市内には「蔓延防止等重点措置」が適用されました。そのため、始業式が延期され、3年生が楽しみにしている修学旅行や2年生の職場体験学習も延期となり、学校行事に多大な影響を与えています。ぜひ、様々な行事がこれから実施できるように、また、安全・安心な生活を送るためにも、毎日の体温計測や不要不急の外出を控えるなど、今後もしっかりと予防に取り組んでください。

さて、2学期が一番長い学期です。言い換えればこの学期をどう過ごすかは、次の年度に大きな影響を及ぼします。1学期の終業式で、「夏を制するものは、〇〇を制す」と話しました。〇〇には、“受験・中体連”等々いろいろな言葉を当てはめることができます。つまり、自分の目標に向かって努力した結果は、必ず将来の自分の姿に反映するという事です。その力を発揮できるように2学期を有意義に過ごしてほしいと思います。さあ、2学期もみんなで励ましあいながら、教えあいながら、がんばりましょう。

～コロナ禍だから・・・～

今年の夏休みは新型コロナウイルス感染症の影響で、不安な日々が続きました。緊急の対応に際しては様々なご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。お陰様で何とか2学期をスタートすることができました。今学期も保護者の皆様のご協力を賜りながら、新型コロナウイルス感染症予防対策に取り組んでまいります。以下、唐津市教育委員会と学校からのお知らせとお願いです。

○9月6日(月)より2学期を始業し授業を行い、10日(金)までの授業は午前中とします。給食は感染拡大防止のため「なし」とします。部活動は9月12日(日)までは停止とします。

- 自宅で検温等の健康管理を徹底し、家庭内でも感染防止について話し合ってください。
- コロナ感染症への差別や偏見に気をつけ、正確な情報に基づく判断をお願いします。
- 感染拡大防止のため、現段階で同居家族を含め風邪症状がある場合は登校を自粛させて下さい。
- 登下校時など「密」になるような行動を決してしないようにしてください。

～悪いのは新型コロナウイルス感染症です～

感染者やその家族に対する人権侵害が深刻な問題となっています。感染者は「非難される対象」ではなく「守られるべき存在」であることを再認識し、以下の点に気をつけて冷静な対応を心がけましょう。学校でも、新型コロナウイルス感染症がもたらす差別をなくす授業に取り組んでいます。佐志中生は、「差別」について考えることができる生徒だと信じています。しっかり考えた行動がとれるよう努めてください。

- ・うわさ話や SNS などでの無責任な情報をうのみにするのはやめましょう。
- ・感染者を攻撃するような言動は絶対にやめましょう。
- ・差別的な言動に同調しないようにしましょう。
- ・治療と感染防止、社会機能維持のために働く人たちに感謝しましょう。

～第32回 東京オリンピックに思う～

7月23日からスタートした東京オリンピックは、開催について様々な意見がありました。しかし、始まってみるとこれまでにないメダル獲得ラッシュに、多くの日本人が選手の活躍に大いに湧きました。コロナ禍で元気の出ない私たちに元気をくれました。実は、バドミントンの男子ダブルスに出場した唐津出身の嘉村健士選手は、私が第一中に勤務していた時の生徒です。決して大きいとは言えない体格でしたが、毎日一生懸命練習していた姿を懐かしく思い出します。残念ながら準々決勝で敗退しましたが…。それでもメダルを取った選手、とれなかった選手がそれぞれに試合後のインタビューで異口同音に「感謝」の思いを言葉にしていました。オリンピックのモットーとして知られる「より速く、より高く、より強く」は、より優れた存在になることをめざすという意味で、オリンピックや競技スポーツの代名詞のようにも使われます。今回のオリンピックからこれまでのモットーに「ともに (together)」が加わりました。多くの競技や試合が成り立つのは、そこに選手がいるからです。選手がいるだけでは決して成立しません。陰に陽なたにと支える人がいて、初めて成り立つのです。特に、今回のオリンピックでは、医療従事者、ボランティア、各関係機関、大会関係者、全国各地域住民などたくさんの方の理解や協力があってこそだと思います。今回のオリンピックを観戦していて、感謝の気持ちを持つこと、その気持ちを伝えたり表したりすることで、人の心は優しくなるだけでなく、温かい気持ちになることを再認識させてくれました。皆さんは何を感じましたか？

～卒業生が、学習指導に！「鶴城出前寺子屋」～

8月10・11日に唐津東高校の生徒さんが、「鶴城出前寺子屋」と銘打った中学3年生向けの学習指導に来てくれました。唐津東高校の生徒会長である米倉さんが生徒に呼びかけ、唐津市内の中学校に勉強を教えに行くというプロジェクト。2日間に9名の高校生が来てくれました。本校卒業生の高校2年生の さん、 さん、 さん、 君、 君、 君、 さん、そして さん。中学生は15名いましたが、最初は緊張してなかなか声をかけられないようでしたが、時間が経つにつれて打ち解け、一生懸命に学習する姿が見えました。



「鶴城出前寺子屋」が終わった後に、中学生にアドバイスをしてほしいことを書いてもらったので紹介します。

1. 学習について

- ・日々の課題にまじめに取り組む習慣をつけること。授業を真剣に受けておけば、勉強がわからないことはない。授業を大切にする。人に聞くことも大切。
- ・テストの過去問を何度も解いて、不明点をなくす。
- ・嫌いな教科でも、わからないところをそのままにしない。
- ・勉強と遊びのオン、オフをしっかり区別すること。
- ・受験は誰でも不安なので、自分はたくさん勉強したという自信をつけること。
- ・常に1番を目指していると順位は上がる。
- ・先生をつかまえて質問できるのは生徒の特権。先生を困らせるくらい質問すると自分も勉強しなきゃならない。

2. 学校生活について

- ・挨拶や返事を疎かにしない。社会に出たときに大事。部活を必死になってやる。部活がリラックスできる位の場であってほしい。
- ・絶対に自分から友人を裏切ったりしない。
- ・笑顔と優しさが大事。
- ・親や先生への感謝を忘れない。
- ・友だちを大切に。
- ・夜更かしはしないで、しっかり睡眠をとる。
- ・積極的に生徒会や体育大会のリーダーになり、自分を高める努力を怠らない。
- ・時間の使い方を考えて行動する。

3. 高校生になって

- ・勉強しておけばよかったと後悔している。
- ・友だちがいるということは素晴らしいこと。
- ・人との出会いの大切さやありがたさに気づいた。
- ・中学校でしかできない経験を1つでも多く取り組む。

最後に、自分たちの後輩が頑張って活躍してくれることを応援してます！と言ってくれました。冬休みも「鶴城出前寺子屋」を計画しているとのことでした。